

令和8年度主要事業

実施予定の主要事業と予算は次のとおりです。

充実して暮らせるまち

自治会支援の充実 **新規**

4700万円

自治会の負担軽減と加入促進、活動の活性化を図るため、市から自治会への各種支援制度を拡充します。

(仮称)文化交流拠点施設の整備

1億900万円

市民が集い、楽しめる場として地域文化の発展と世代を超えた交流の核となる施設を目指し、整備します。



イメージ

豊かな学びを育むまち

今泉小学校・中学校の増築校舎の整備 **新規**

13億1500万円

海老名駅西口地区の人口増加により、教室数の不足が見込まれるため、増築校舎を整備します。



イメージ

教材費無償化及び野外活動・修学旅行への補助の拡充

2億2100万円

全児童・生徒を対象に教材費無償化と野外活動・修学旅行への補助を行い、保護者負担の軽減を図ります。

夏休み中の

小学校体育館の開放 **新規**

80万円

夏休み中の子どもが、空調の効いた屋内で安心して遊べる場を提供するため、北部・中部・南部の各地域で1校ずつの小学校体育館を試行的に開放します。

わかば会館の大規模改修 **新規**

1億5000万円

障がい児の増加に伴う福祉サービスのニーズに応えるため、わかば会館を「障がい児の拠点施設」として再編成し、大規模改修を実施します。



わかば会館

にぎわいがあり自然に優しいまち

新たなシンボルの選定 **新規**

100万円

自然の重要性への意識の醸成を図るため、市の木「ツゲ」、市の花「サツキ」に次ぐ、自然環境推進の象徴となる新たなシンボルを選定します。

多量排出事業所訪問指導の強化 **新規**

100万円

事業系ごみの減量化を推進するため、多量排出事業所に対する訪問指導に民間事業者の知見を活用します。

便利で快適に暮らせるまち

中新田丸田地区土地区画整理事業の推進

18億4000万円

土地区画整理組合が実施している事業の支援と併せて、地区内の近隣公園や主要道路などを整備します。



イメージ

住宅政策に係る支援制度の充実 **新規**

7300万円

民間賃貸住宅ストックを有効活用するため、改修費用や家賃低廉化などの補助を行い、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給を促進します。定住促進や空き家発生の抑制を図るため、各種支援制度を継続します。



行政文書の電子化 **新規**

990万円

行政文書の電子化を進め、災害時にも速やかに業務を再開できる体制を整えるとともに、保管スペースやコストの削減を図ります。

新たな発見ができるまち

情報発信手法の充実 **新規**

40万円

オリジナル紙袋などを作成し、海老名の魅力を市内外へ効果的に発信します。より多くの人に情報が伝わるように、SNSなどを活用し、情報発信手法の充実を図ります。



オリジナル紙袋イメージ

安全で安心して暮らせるまち

市民(要配慮者)参加型の広域避難訓練の実施 **新規**

130万円

災害協定に基づき、要配慮者参加型の避難訓練を実施し、大規模災害時における要配慮者の広域避難体制の構築を図ります。



消防通信指令システム及び消防救急デジタル無線設備の更新

3億3000万円

三市消防指令センターを現状の3市(海老名市・座間市・綾瀬市)と大和市を加えた4市での共同運用とし、新しい消防通信指令システムと消防救急デジタル無線設備の運用を開始します。



令和8年度予算トピック

市制施行55周年記念事業

市制施行55周年を記念し、記念式典やえびな市民まつり花火5500発打ち上げ・歌舞伎舞踊公演・大相撲海老名場所・シニアカラオケ大会・健康麻雀大会・文化財グッズ作成など、さまざまな事業を行います。